

ルクセンブルク経済・金融情勢（2014年4月後半）

1. 経済

- 2014年3月の失業率は7.1%（前月は7.1%、前年同月は6.7%）。（23日付統計局プレスリリース）
- ルクセンブルク銀行協会（ABBL）、23日に銀行セクター労働組合との間で、2014-2016年の期間を対象とする新たな労使協定に合意。また、25日開催のABBL総会にてイブ・マース新会長の就任が承認され、新事務局長にはセルジュ・デシリア氏が就任。（23日付ABBLプレスリリース及び26日付ル・コティディアン紙）
- ルクセンブルク政府、23日に保有するカーゴルクス社株35%の河南民航発展投資（HNCA）への売却を完了。（23日付ヴォルト紙電子版）
- カーゴルクス社、26日に英専門誌Air Cargo Newsより、「Best Freighter-Only Airline」賞を受賞。（28日付カーゴルクス社プレスリリース）
- 消費者の権利に関するEU指令の国内法化により、26日よりルクセンブルクにて訪問販売が合法化。（29日付ル・コティディアン紙）
- 世界銀行が発表した2014年の物流パフォーマンス指標によると、ルクセンブルクは世界で第8位（2012年は同15位）。（29日付ヴォルト紙電子版）
- カーゴルクス社、2013年の収益は1,988.5百万ドル（前年比+14.4%）、純利益は8.4百万ドル（前年度は35.1百万ドルの純損失）。同年の取扱貨物量は753,848トン（前年比+16.7%）であった。（30日付ヴォルト紙電子版）
- 世界銀行が29日に発表した国際比較プログラム（2011年）の調査結果によると、ルクセンブルクは世界で9番目に物価が高く、一人当たりGDP（購買力平価換算）は世界第3位。（30日付ペーパージャム誌電子版）

2. 金融

- ルクセンブルク証券取引所、16日開催の年次総会にて2013年の活動実績を発表。2013年の連結収益は40.69百万ユーロ、連結純利益は8.18百万ユーロ（前年比+16%）で、2013年には8,317の有価証券が新規上場（前年比+2.41%）した。（16日付証券取引所プレスリリース）
- 2014年第1四半期の当国金融機関の引当金計上前利益は、1,368百万ユーロで、前年同期比+4.5%。（25日付金融監督委員会コミュニケ）
- 国立貯蓄銀行、2013年の純利益は208.4百万ユーロで前年比+5.

2%。(26日付ル・コティディアン紙)

3. 政府

●欧州委員会が3月にルクセンブルク政府に対しタックスルーリング制度及び知的財産関連税制に係る情報提供を命じていたことに対し、政府は同命令の取消しを求め欧州司法裁判所に提訴することを決定した旨発表。(24日付財務省コミュニケ)

●2014年度予算が24日に国民議会にて可決。(25日付ル・コティディアン紙)

●シュナイダー経済相及びグラマーニャ財務相、欧州セメスター制に則って欧州委員会に提出するルクセンブルクの安定計画及び国別改革計画を25日に公表。(25日付経済省・財務省コミュニケ)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。